

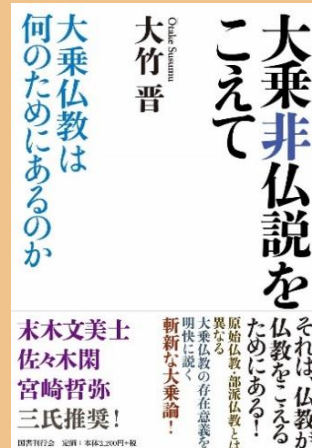
新着図書案内



仏教の聖者：史実と願望の記録

船山 徹【著】 臨川書店 2019/6 請求記号180

仏教の歴史のなかに聖者はいたのか、いなかったのか。素朴な問いに端を発する仏教の聖者への関心は、やがて信仰の内実へとつながる大きな問いに発展していく。仏教史に名を残す学派の祖師や学僧たちは、どのような修行を行い、いかなる宗教的階位に到達したのか。原典資料を読み解き、誤った理解が蔓延する仏教の聖者観を問い直す。巻末に基本用語集を収録。



大乘非仏説をこえて：大乘仏教は何のためにあるのか

大竹 晋【著】 国書刊行会 2018/8 請求記号181.02

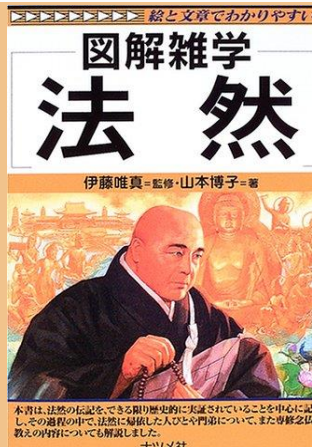
歴史的ブッダの死後500年ごろから出現し始めた大乘仏教は、その始まりから「大乘非仏説論」に晒され、大乘仏教徒は、大乘非仏説論を厳しいトレーナー（教官）として、大乘仏教の存在意義を懸命に探し求めてきた。しかし、内外に問題をかかえたまま、新来の上座部仏教の正統性に追従する近年の日本の大乘仏教諸宗においては、大乘仏教の存在意義はもはや完全に見失われつつある。そのような状況にあって、本書は、大乘仏教に共感や関心を持つもののために、あらためて大乘非仏説論に真摯に向き合いつつ、大乘仏教の存在意義を明快に説きあかす。



現代日本の仏教と女性：文化の越境とジェンダー

那須英勝, 本多彩, 碧海寿広【編】 法蔵館 2019/4 請求記号182.1

日本仏教、その未来を考える。仏教界に今なお根強く残る性差別の実態に、国内外の研究者と現場の僧侶たちが鋭く迫る。多文化共生が求められる現代社会に、ジェンダーの視点から日本仏教の未来を問う革新的な1冊。



法然：図解雑学 絵と文章でわかりやすい！

山本 博子【著】 ナツメ社 2005/4 請求記号188.62

鎌倉時代は日本の仏教思想の変革の時代である。それは鎌倉新仏教と呼ばれ、法然・栄西・道元・親鸞・日蓮など、現在まで多くの信者をもつ仏教教団の祖師を輩出した。鎌倉新仏教のさきがけは法然の専修念仏の主張だった。本書は、法然の伝記をできる限り歴史的に実証されていることを中心に記述し、その過程の中で、法然に帰依した人びとや門弟について、また、専修念仏の教えの内容についても解説。さらに、現在も行われている法然の遺跡を巡拝する二十五霊場も紹介している。